

一般県道吉里吉里釜石線 室浜トンネルが貫通！

沿岸広域振興局土木部
道路建設課

県が「まちづくり連携道路」として、一般県道吉里吉里釜石線室浜の2地区で整備を進めている室浜トンネル（L=195m）については、平成27年6月8日に安全祈願祭を行い、本格的に工事を進めておりましたが、関係各位のご協力をいただき工事が順調に進み、9月16日に県、釜石市、地元代表（地権者、町内会）、工事関係者等約70名が出席し、貫通式が開催されました。

沿岸広域振興局 佐々木局長、加藤技術参事兼土木部長、野田釜石市長、佐々木釜石市議会議長が貫通発破を執り行い、室浜トンネルの無事貫通を記念して、関係者一同で万歳三唱が行われました。

通り初めでは、関係者がお互いに握手を交わし、樽神輿の入場、鏡開きが行われ、出席者全員で貫通を喜び合いました。

発注者を代表して佐々木局長からは、「一般県道吉里吉里釜石線 室浜・片岸間の早期開通に向け、一丸となって全力で取り組みたい」との挨拶がありました。



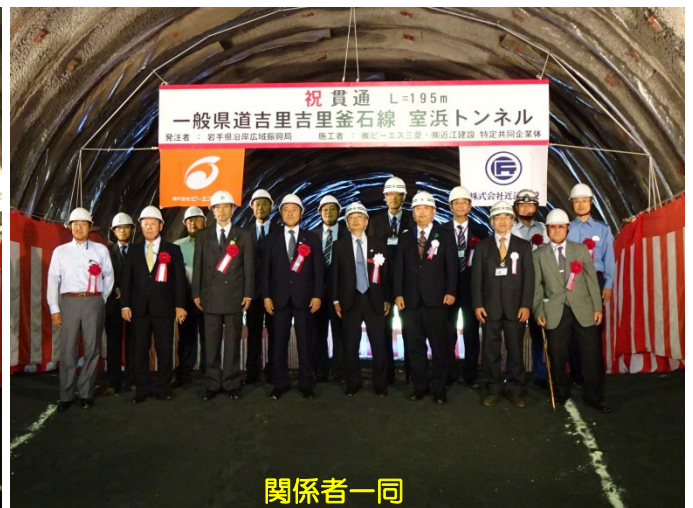
貫通発破



通り初め



樽神輿入場



関係者一同

【現場見学会の様子】

7月26日、工事の進捗状況や「地元の復興」を実感していただくため、地元の方々を対象に現場見学会を開催したところ、27名の参加がありました。



【一般県道吉里吉里釜石線 室浜、室浜の2地区の事業概要】

県道吉里吉里釜石線は、室浜地区（室浜漁港）から国道45号片岸地区へのアクセス道路であり、水産業の復興を支援する道路であるとともに、津波等の災害時は避難路にもなっています。

東日本大震災津波により、室浜地区の集落は壊滅的な被害を受け、避難路となる県道も浸水したため、室浜地区は長時間にわたり孤立化しました。

このため、県では周辺の片岸地区の防潮堤や区画整理事業等のまちづくりと一体となり、平成29年度の全線供用開始を目指して災害に強い道路整備を行い、当地域の安全で安心な防災都市・地域づくりを推進していきます。

